

GFSIが農業界とGAPに与える影響

日本GAP協会 専務理事 武田泰明

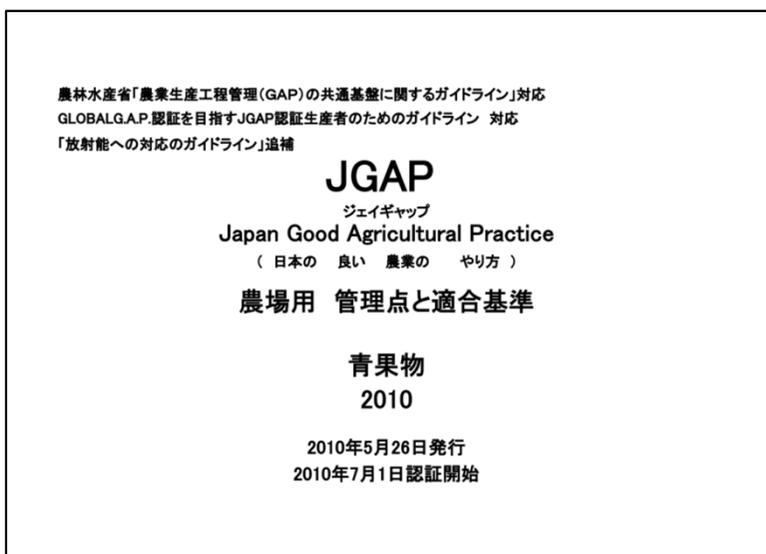




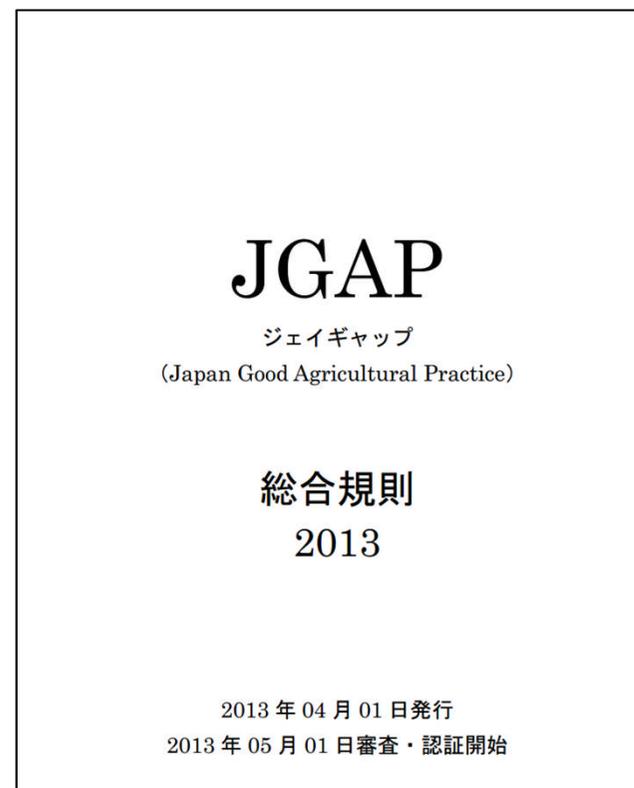
食品安全に関連する認証スキームの良し悪しを判断するベンチマークのサービスを提供

✦ Global Food Safety Initiative

- ✦ グローバルに展開する 70か国 400社以上の小売業・食品メーカーで構成される The Consumer Goods Forum の下で 2000年に設立された世界最大の業界団体の一つ。本部はフランス・パリ
- ✦ サプライチェーンを通して食品安全について協働し、知識を交換・共有し、ネットワークを築くためのプラットフォーム
- ✦ 具体的な活動の一つとして、食品安全にかかわる認証制度（スキーム）について、その信頼性を判断・承認する仕組みを提供。
- ✦ GFSI の承認を受けた認証制度は「GFSI 承認スキーム」と呼ばれ、“信頼に足る”食品安全の認証制度として世界中で利用される
- ✦ 要は食品安全の認証制度の格付け的なことが行われている
- ✦ 食品加工・農業などが対象 → つまり、GAPも対象！



農場の基準



審査・認証のルール

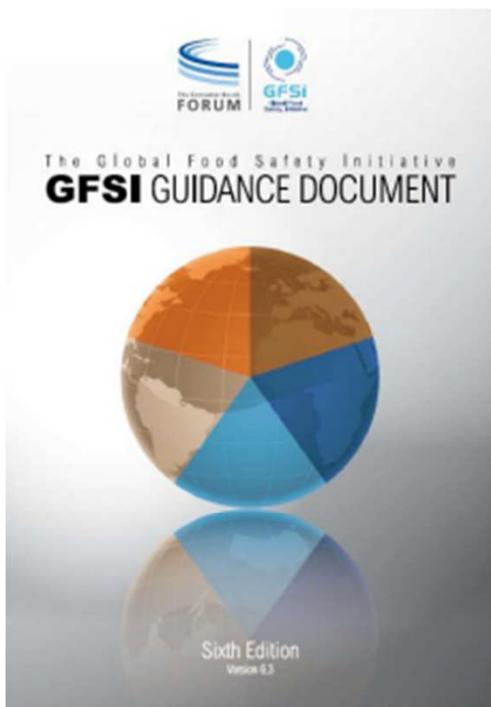
二つ合わせて「認証制度(スキーム)」



GFSIが承認の対象とするもの

GFSI

ガイダンスドキュメント



承認

ガイダンスドキュメント
への適合性を審査

ガイダンスドキュメントの内容

パートI：ベンチマーキングプロセス

1. ベンチマーキングプロセス
2. ベンチマーク委員会

パートII：スキーム管理に対する要求事項

1. GFSIベンチマーキング申請に対する要求事項
2. 食品安全スキームに対する要求事項－所有と管理
3. 食品安全スキームに対する要求事項－システム

パートIII：スキームの適用範囲と主要要素

- セクション1：食品及び飼料安全マネジメント
- セクション2：適正業界セクター規範要求事項
- セクション3：HACCP（危害要因分析・重点管理点）あるいは危害要因ベースの要求事項
- セクション4：サンプリング技法による多数サイトをもつ組織の認証

承認済スキーム

FSSC22000

GAP含む SQF

IFS

GRMS

BRC

GAP CANADA GAP

GAP Global GAP

Alliance

GAP含む Prims GFS

承認中スキーム

China HACCP

❖ GFSIを牽引する企業（HPより）

❖ 現在のGFSI理事企業

- イオン、コカコーラ、カーギル、Mondelez、Royal Ahold、メトロ、カルフルー、ネスレ、マクドナルド、Kroger、ダノン、Tyson Foods、COFCO、China Resources Vanguard、ウォルマート

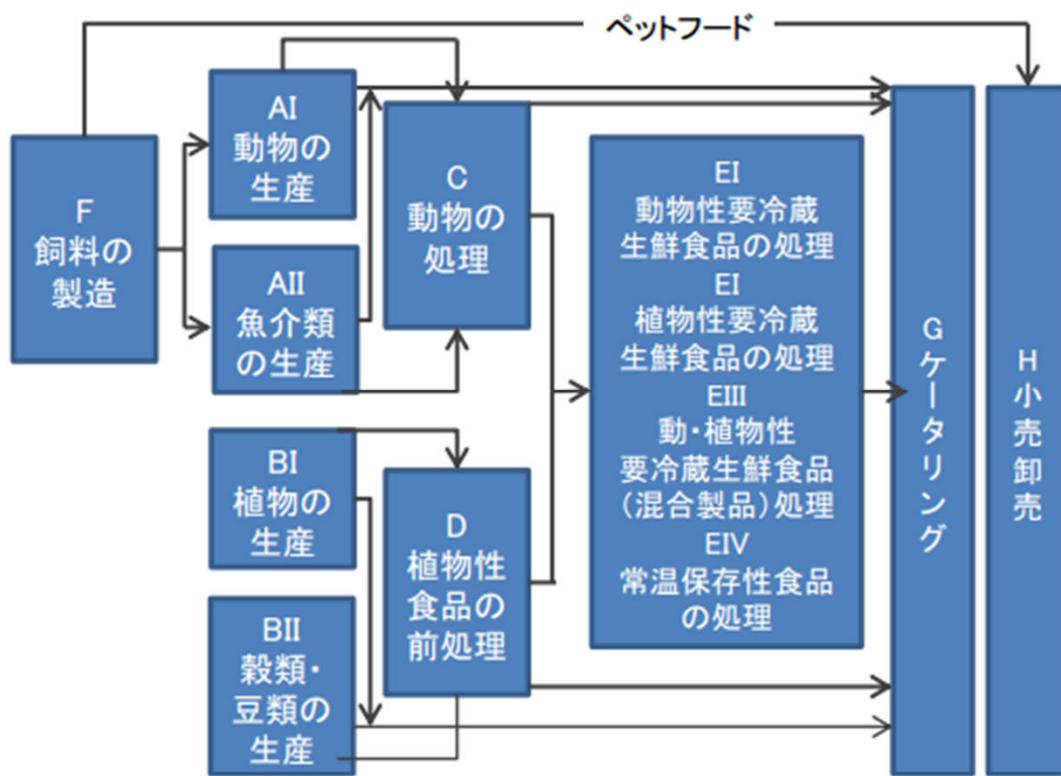
❖ 現在のGFSI日本ローカルワーキンググループ

- イオン、花王、麒麟、コカコーラ、味の素、伊藤園、カゴメ、サントリー、西友、ダノンジャパン、東急ストア、日清食品、ニチレイフーズ、日本アクセス、日本水産、日生協、日本ハム、ネスレ日本、ハウス食品、三菱食品

❖ GFSI承認の有無と、取引基準への影響

- ❖ 従来、仕入先を評価・管理・選別するためのスキームは、食品を扱う企業がそれぞれ決めていた（例えば、A社はISO9001を仕入先に要求、B社はGLOBALGAPを仕入先に要求、C社は自社基準 等々）
- ❖ 今後は、GFSI承認スキームの認証ならどれでも信頼できるからいいよ、OR GFSI承認スキームであることは最低条件 という方向性
- ❖ ただし、GFSIに関係する企業であっても、実態は大きな温度差あり

GFSI承認は分野ごとにするもの



分類コード	セクター
AI	動物の生産
AII	魚介類の生産
BI	植物の生産
BII	穀類・豆類の生産
C	動物の処理
D	植物性食品の前処理
EI	動物性要冷蔵生鮮食品の処理
EII	植物性要冷蔵生鮮食品の処理
EIII	動・植物性要冷蔵生鮮食品(混合製品)の処理
EIV	常温保存性食品の処理
F	飼料の製造
L	化学物質・生化学物質の製造
M	食品包装の製造

J 輸送及び保管サービスの提供(要冷蔵生鮮食品JI、常温保存性食品JII)
I 食品安全サービスの提供
K 食品加工装置の製造
M 食品包装の製造
N 食品ブローカー／代理店

G	ケータリング
H	小売り・卸売り
I	食品安全サービスの提供
J	輸送・配送サービスの提供
K	加工設備製造
N	食品ブローカー代理店

出典: GFSIガイダンスドキュメント

PrimusGFSはB I +B II +D / GLOBALGAPはB I +D
 SQFはB I +D / CanadaGAPはB I +D で承認を取っている

権威づけの構造が変わりつつある

GlobalGAPの事例

- 現在、GlobalGAPが欧州で支配的に利用されている理由の一つがGFSI承認を得ていること(ただし、GlobalGAPは主に青果物で普及)
- 一方でGlobalGAP自身が独自に同等性認証の仕組み(JGAPも以前は利用していたもの)を提供しているが、GFSIはGlobalGAPの同等性認証の仕組みは承認しておらず、GlobalGAP同等性認証を持っていてもGFSI承認は得られないという状態になっている

CanadaGAPの事例

- CanadaGAPはGFSI承認を得ているが、その結果として北米で多くの企業が調達先の評価に利用し、カナダとUSAに2400以上の認証農場がある(GlobalGAPは両国合計で900程度)
- CanadaGAPはGFSI承認を優先しており、GlobalGAP同等性認証は一度も取ったことがない
- 北米は「GAP＝食品安全」であり、欧州の認識・ニーズと異なる面もある

JGAPの事例

- 国際規格としてグローバルな知名度・信頼性を得るために、2017年までにGFSI承認を得る方針を決定。日本の農業者が取り組みやすいGAP認証制度(認証農場1817 日本/韓国/タイ)がGFSI承認を受けることはメリット大

❖ 技術的なハードル (GFSIガイダンス文書は何を求めているか？)

- ❖ 農場の基準は、現在のもので「ほぼOK」
- ❖ JGAP審査認証機関の監査・認定をIAF加盟MLAメンバー(具体的には日本ではJAB日本適合性認定協会)が行うこと **ほぼ解決済み**
- ❖ 審査員の学歴(食品関連もしくは生物科学の学位)を要求
- ❖ 農場審査の工数の増加(青果物は0.5日→1日、茶は1日→2日)
- ❖ JGAP認証の表示・文言・マーク使用の不可

❖ 政治的なハードル

❖ GFSI承認が求められる時代に、どう向き合うべきか？

- ❖ JGAPは設立から8年にわたる約50人の技術委員による審議と、実際に導入した1000を超える農業現場からの意見・提案を積み上げて認証制度(農場の基準+審査認証のルール)を改善してきた。その経験よりも、GFSIガイダンス文書に書かれていることを優先しなくてはいけない不合理性
- ❖ 我々が考える最高のGAP認証制度(信頼性・経済性の両立)を創り、継続的に改善し、持つておくことの重要性

U.S. Department of Health & Human Services
FDA U.S. Food and Drug Administration
Protecting and Promoting Your Health

Home Food Drugs Medical Devices Radiation-Emitting Products Vaccines, Blood & Biologics Animal & Veterinary

Food
Home Food Guidance & Regulation Food Safety Modernization Act (FSMA)

Guidance & Regulation
Food Safety Modernization Act (FSMA)
The Law, Rules & Guidance
How to Comment on FSMA
Fact Sheets
Frequently Asked Questions
Speeches, Videos, & Webinars
FDA Actions to Date

Resources for You
FSMA Blog

FDA Food Safety Modernization Act (FSMA)
The FDA Food Safety Modernization Act (FSMA), the most sweeping reform of our food safety laws in more than 70 years, was signed into law by President Obama on January 4, 2011. It aims to ensure the U.S. food supply is safe by shifting the focus from responding to contamination to preventing it.

Subscribe E-mail Updates

Spotlight
FDA Answers Farmers' Questions on the Proposed Rule for Produce Safety
Q&A with Mike Taylor, Deputy Commissioner for Foods and Veterinary Medicine

日本産農水産物 輸出先第2位が米国

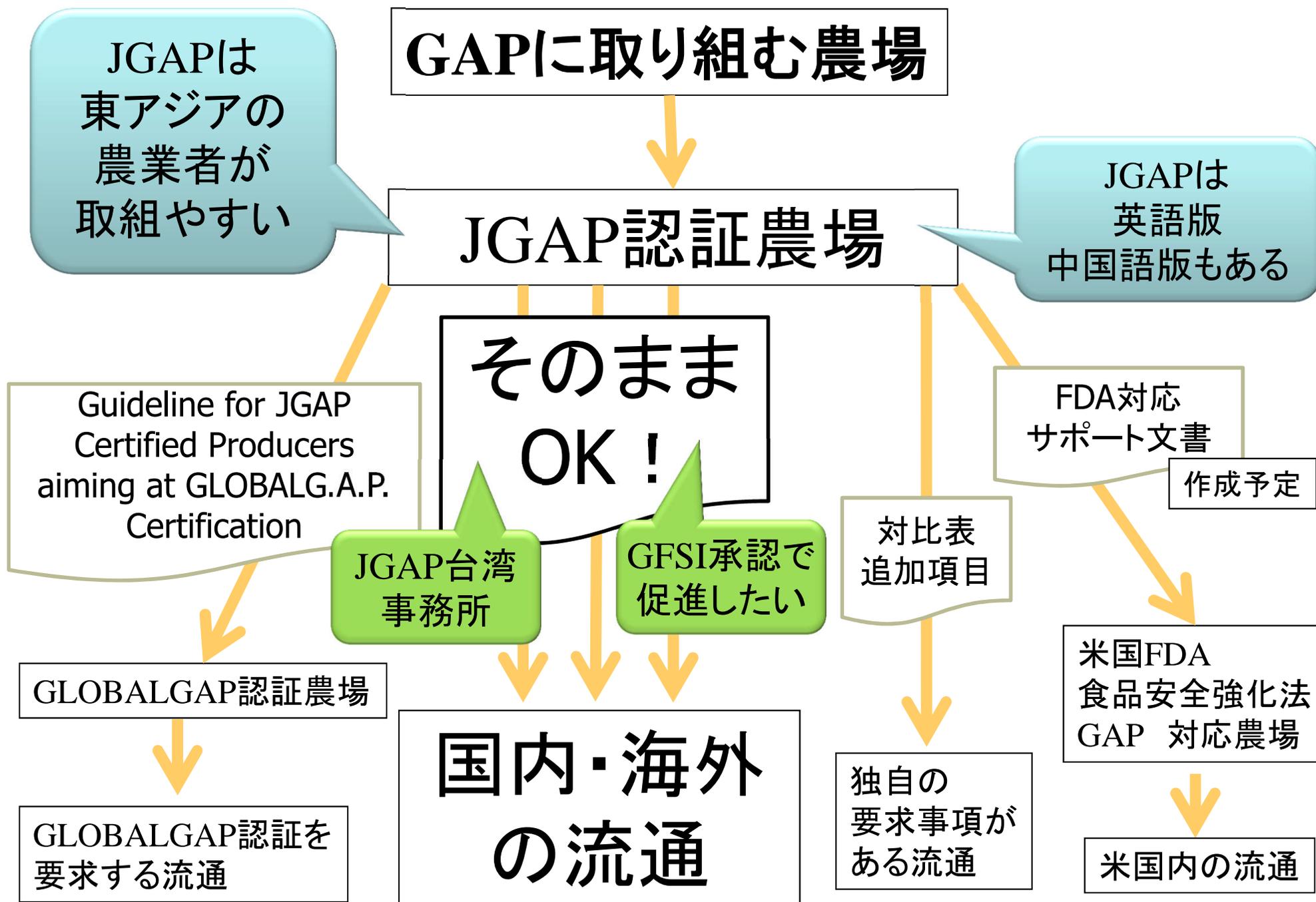
🍌 米国 食品安全強化法

- ❏ 平成23年1月成立。
- ❏ 米国内で消費される食品を製造する全ての施設について、FDAが求めるGMP / HACCP / GAP等を義務付け
- ❏ 加工食品は2016年6月、農産物は2017年6月までに施行予定
- ❏ FDAによる検査・査察もあり

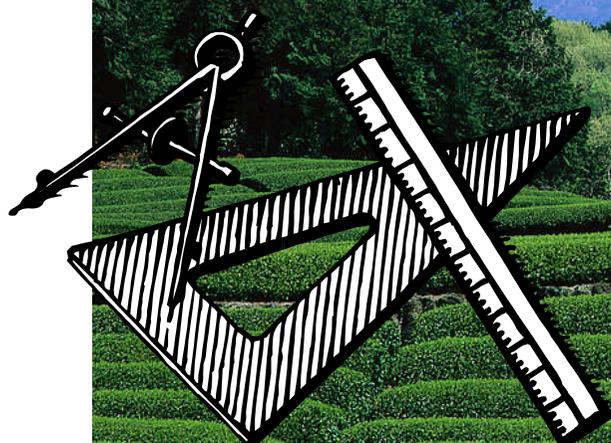
🍌 まだ決まっていないことも多い。

- ❏ 生鮮青果物用GAP案は2013年1月に公表され、パブリックコメントを募集（日本GAP協会も翻訳に協力し、ジェトロのHPに日本語訳を掲載中）。
- ❏ 食品安全監査を実施する第三者監査人の制度を設計中。FDAの代理として、誰をどのように第三者監査人と認めるかは未定。「GFSI承認スキームの認証であれば、そのまま認める」というような姿勢は今のところ無い
- ❏ 国の食品安全の制度を丸ごと信任する仕組みも有（NZ / Canada等）

JGAPは、全ての取引基準のゲートウェイ(入口)に！



10年後 日本の農産物の評価は どうなっているか？



定規づくり
任せっきりで
いいのかな？

